





本栖公家行列 5月17日 -300年もの歴史を持つ伝統行事-

- ◆「エンターテイメント」のまちづくり 2p
 ◆こういうことを決めました 3p
 ◆町の予算はこう使われます 4~5p
 ◆主な条例制定 6p
 ◆予算特別委員会 質疑応答 7~9p
 ◆ここが聞きたい 一般質問 10~13p
- ◆ 特集「合併して新町に寄せる思い」 14~15p



らの引揚者などによる開 その後昭和二十二年に、 村が誕生しております。 四ヶ村によって上九一色 梯・古関・精進・本栖の 色が上下に分離され、 衆」の存在があり、それ 割を担った「中道往還」 二年に字富士ヶ嶺と改称 拓団が入植して富士豊茂 本栖三ケ水地区に満州か により、それまでの九一 二十二年七月の町村施行 地域の生い立ちは、明治 なお残されております。 を裏付ける史跡等も今も の警護についた「九一色 魚の道」として重要な役 と駿河を結び「塩の道・ 支配していた時代、甲州 歴史は、武田家が甲州を た上九一色村南部地域の した。二次として編入し で全国でも例のない分村 上九一色村南部との合併 の合併から二年有余が経 し現在の姿となっており 一次合併が成立いたしま 富士河口湖町が三町 去る三月一日には

な自然と原野に覆われた により広漠とした緑豊か この合併が整ったこと

> ることになります。 河口湖町を全国へ発信す 地 つの湖で日本屈指の景 の自治体として富士

められることになります。 教育、文化·保健、医療 生活基盤整備はもとより 政主体である市町村に自 な視点に立った対応が求 の分野においても広域的 福祉更には産業振興など 活圏が拡大することは、 こうした地域住民の生 また、地方分権が進む 住民に最も身近な行

おり、 り、 向・派遣が派生し、従来 本町でもかつてない出 ら人事交流が持ち込まれ、 ります。人事交流につい 究所への派遣が決定して 更に民間では山梨総合研 部・農政部・健康福祉部、 の交流についても県土木 から職員派遣の要請があ n 充実を図ることにしてお の育成を図り組織体制の 職員を派遣するなど人材 ました。 更には国土交通省か 新年度から六名の また、 内閣府

> であります。 人事配置を行ったところ 適所を十分配慮しながら

西湖エリアの「いやしの 整理事業」更には継続事 を整備する「街なか石畳 部の舗装の修景やサイン 鎌倉街道並びに地区中心 に展開をしております。 営住宅建設事業」が順調 業として大嵐地区の「町 道」の整備や「小立区画 口湖南部の船津地 まちづくり事業は、 区の IH 河

里事業」は、 事業途中に で、

行政報告

「エンターテイメント」のまちづくり

するよう

的に機能

富士河口湖町長 小佐野 夫

のご理解をいただき、 町から七名の職員が制度 組んできたところですが、 機会の増加なども予想さ 発生により専門的な判断 定の成果をみた結果とな 上九一色村から二名、本 とし早期退職制度に取り れるところであります。 るにつれて事務量は増加 大し、権限委譲が進展す し、新しい分野の事務の 己決定権・自己責任が拡 方、職員数の適正管理 る国の財政支援の変化に ちづくり交付金に見られ る「町づくりは、人づく ては、 たに設置し、 として、都市整備課を新 効果的に機能できる体制 実を図ることとして、 動力となる組織機構の充 た上でのことであります。 りである」ことを確信し 正に日頃からの持論であ なる一面もありますが、 こうした中、新町の原 一時的には過重と 職員の適材

ま

ます。 ドオープンを待たず、十 成二十年十一月のグラン 第一期オープンといたし して見学希望が殺到し平 一棟完成の七月十五日に

ただいております。

町民の皆さんの健康づ

り」を展開することとし りの一環として「エンタ ミュージシャンやエンタ ております。地域在住の ーテイメントのまちづく ただき、高い芸術文化や ー・ティナーの登場をい また、今後のまちづく

作業療法士等の医療実習

テーションクリニックと 大学と連携したリハビリ

みたい街づくりに取り組

むものであります。

ちづくり 笑いのま を狙いと

設とし

したもの

月中旬ま 末から七 百五十席 で客席六 は、先月 町民の綾 を有する まろさん 小路きみ ば、特別 河口の猿劇場を利用して

▲7月オ なり、 合わせた 外来、 などの医 診・訪問 して効果 療施設と リハビリ 設機能に 域には施 ることに て機能す 往 地

ります。また、集客を本 町への宿泊に繋げていた 集客を企画したところ既 二十公演・一万三千人の す。センターは健康科学 康指導センターを七月オ 続事業として完成した健 ろ、町の経済に貢献でき だくようお願いしたとこ に完売したとの情報であ ープンを予定しておりま くりは、十七年からの継 て嬉しいと、快諾してい 訪ねてみたい街、住んで ろと心得ております。こ の自治体」を標榜した、 を配慮した二十一世紀型 トックとし「環境と景観 くりとして次世代へのス 構想を基軸としたまちづ れらの諸施策は五感文化 設置し、進めるべきとこ 有識者等々検討協議会を 等十八年の環境アセスメ 階となっております。 スポーツセンターの改修 は、まきば公園、青少年 ント構想など、議員さん、 大学との最終的な調整段 また、上九一色地域に

れ、次の議案が原案どおり可決さ 臨時議会は二月十六日に開催さ

○行政組織条例の一部改正

整備課を設置したものである。 行政ニーズの対応に基づき新たに都市

○富士河口湖町と上九一色村の分村合併 三月一日に上九一色村南部と合併する に伴う関係条例の整備に関する条例

地区と精進地区に出張所を設ける。上下 名に改めた。上九一色村南部の富士ヶ嶺 水道条例の改正を行い、使用料金等を定 団員の定数を五十六名増員し三百五十一 名に、職員定数を二百七十一人に、消防 あるため条例の一部改正等を行った。 ことに伴い関係条例の整備を行う必要が 議員定数を十八名から二名増員し二十

置及び使用料等を定めた。 また、学校及び公民館等公共施設の設

○船津財産区補正予算 歳入歳出に増減はなく、歳出の管理会 (第四号

十五万六千円を増額し十九億九千八百七 ○国民健康保険特別会計補正予算 万円減額が主なものである。 費二百五十万円増額し予備費を二百五十 歳入歳出の総額にそれぞれ三千四百二 第三号

出金二百八十六万円が主なものである。 〇老人保健特別会計補正予算 (第二号) は保険給付費千四百一万円、老人保健拠 国庫支出金千五百六十六万八千円、歳出 歳入は保険税千三百二十三万八千円

十六万三千円とする。

四千円とする。 万三千円を増額し十六億二千九百四十万 歳入歳出の総額にそれぞれ二千二百七

なものである。 は医療給付費二千百八十二万四千円が主 七千円、国庫支出金三百九十万円、歳出 歳入は支払基金交付金千四百四十四万

三千円を増額し八億千七百六十三万八千

金二百八十三万三千円、歳出は保険給付 出金四百九十四万七千円、支払基金父付 費千四十七万三千円が主なものである。 歳入は保険料百三十三万千円、国庫支

○一般会計補正予算 百四十六万三千円とする。 四百十一万六千円を増額し百九億四千九 歳入歳出の総額にそれぞれ十四億四千 (第十一号)

る上九一色村南部地区に係わる上九一色 主なものである。 運営費また、上下水道に係わる繰出金が コミュニティセンターの建設費及び管理 二千円、歳出は三月一日をもって合併す 税三千万円、国庫支出金千六百二十六万 歳入は町税九百九十三万円、地方交付

○大室山外三十字恩賜県有財産保護財産 区特別会計予算

十円とする。 歳入歳出の総額をそれぞれ二十一万二

歳入は普通財産取得費二十一万二千

歳入歳出の総額をそれぞれ百九十万

六千円が主なものである。 費六十九万五千円、起債償還金百二十万 繰入金百三十万円、歳出は水道維持管理 歳入は水道使用料六十万円、一般会計

○精進青木ヶ原簡易水道事業特別会計予

費九十九万九千円、起債償還金七十五万 繰入金八十五万円、歳出は水道維持管理 歳入歳出の総額をそれぞれ百七十五万 歳入は水道使用料九十万円。一般会計 千円とする。

○本栖簡易水道事業特別会計予算 九千円が主なものである。

歳入歳出の総額をそれぞれ百八万六千

○介護保険特別会計補正予算 歳入歳出の総額にそれぞれ千四十七万

円、歳出は予備費二十一万二千円が主な ○精進居村簡易水道事業特別会計予算 ものである。 十円とする。

日までの十日間開催された。 三月定例議会は三月八日から十七 一件、議案八十五件、同意九件を 全案件を原案どおり可決

の変更の主なものは次のとおりです。 条例の制定・一部改正及び廃止、規約

- 河口湖自然生活館条例

(第三号)

繰入金十八万五千円、歳出は水道維持管 理費百万円、起債償還金八万六千円が主 なものである。 歳入は水道使用料九十万円、一般会計

○富士ヶ嶺簡易水道事業特別会計予算

道維持管理費八百二十九万四千円、起債 計繰入金二百六十七万三千円、歳出は水 償還金二百四十八万円が主なものであ

○本栖下水道事業特別会計予算

十円とする。 歳入歳出の総額をそれぞれ五十五万六 歳入は下水道使用料五十五万五千円

○精進特定環境保全公共下水道事業特別 主なものである。 会計予算

九万七千円とする。 歳入歳出の総額をそれぞれ二千二百十

円、一般会計繰入金二千八十七万五千円、 が主なものである。 歳出は下水道管理業務委託費百三十二万 一千円、起債償還金二千八十七万五千円 歳入は下水道使用料百三十二万一千

定例会に提出された案件は報告

- 船津温泉休養施設条例
- 河口湖ハーバル工房条例

円とする。

四千円とする。 歳入歳出の総額をそれぞれ千七十七万

歳入は水道使用料八百十万円、一般会

歳出は下水道管理業務委託費五十万円が

水道運営審議会条例

- 簡易水道事業審議会条例
- 湖南水道事業常任委員会設置条例

- · 庁舎等建設事業基金条例 町民ふれあいセンター条例
- する条例

有料便所使用料条例

富士五湖広域行政事務組合規約

平成十八年度一般及び特別会計予算に

- ・河口湖ハーブ館条例 大石紬伝統工芸館条例
- ・河口湖創造の森オートキャンプ場条例 ·観光総合案内所条例
- ·河口湖美術館条例 船津胎内フィールドセンター条例
- ・人事行政の運営等の状況の公表に関す
- ・精進活性化センター条例
- 生涯学習館条例
- ・子ども未来創造館条例
- 国民保護対策本部及び緊急対処事態対 策本部条例
- 国民保護協議会条例

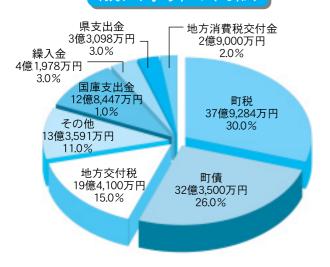
条例の一部改正

- 職員給与条例
- 手数料条例 ・定住促進に関する条例
- 介護保険条例
- ·乳幼児医療費助成条例
- ・重度心身障害者医療費助成条例
- ・ひとり親家庭等医療費助成に関する条
- ・船津公園墓地及び小立公園墓地条例
- ・勝山墓地及び小海墓地条例
- ·町営住宅条例
- 簡易水道給水条例

- ・町立診療所条例
- 町営土地改良事業経費の賦課徴収に関

例内容は六ページに掲載してあります。 ついては四・五ページに、また、主な条

歳入予算の内訳



消防•防災

防犯パトロール

大石分団水槽付

消防自動車購入

防火水槽及び消

足和田分団長浜 消防車庫新設

防災行政無線更

1億5,000万円

新事業

火栓整備事業

345万円

2,450万円

2,785万円

315万円

建

河口湖インター

1億5,922万円

1億1,101万円

5,000万円

一般町道新設改

小立土地区画整

2億1,356万円

5億8,473万円

507万円

サクラの里公園

河口湖駅前線拡幅改良 及び歩道整備事業ほか

3億8,019万円

大嵐町営住宅建

合併処理浄化槽 設置補助金

6億331万円

1,500万円

設事業ほか

整備事業

町営プール建設工事

富士登山道線建

線建設事業

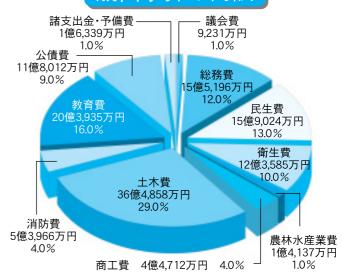
設事業

良事業

理事業

設

歳出予算の内訳



平成18年度特別会計予算総括表 単位万円・4 拴5 λ

	3
STB	
토-국	
503	
**	L
教育	L
0 0	ı L
0	ı
	ı
	ı -
曲とようナナーフィ	
豊かな心を育てる人 づくり事業補助金	·
	ı -
健康科学大学建	ı F
設関連補助金	·
6,600万円	ı ⊦
少人数学級及び複式学	·
級解消町単独教諭配置	ı
2,010万円	ı
小立小学校大規	·
模改修事業	ı
1億6,630万円	·
中央公民館改修工事	·
2,380万円	
生涯学習館、子	
ども未来創造館	
備品購入費	
2,265万円	L
自然共生事業委託	ıL
1,028万円	ı L
鐘突堂ネットフ	╷
ェンス設置事業	╷ ┟
670万円	
ステラシアター可	
動式屋根建設事業	ı
6億3,774万円	L

十八 10 千尺1		J' JT 小心	一口27313 1.	捨5入
	計 名	•	予 算 額	
船津財産			4億1,186万	円
小立財産			5億5,726万	円
大石財産			3,142万	円
河口財産	区特別	会計	8,980万	円
西深沢外十三恩賜県有			391万	円
勝山財産			8,113万	
長浜財産			223万	円
西湖財産			12,220万	
大嵐財産			2,031万	円
■ 青木ヶ原外七字■ 恩賜県有財産保			71万	円
精進財産	区特別	会 計	113万	円
本栖財産	区特別	会 計	55万	円
大室山外三十字恩賜県	有財産保護財産	区特別会計	157万	
小立簡易郵便	局事業特	別会計	753万	円
河口湖治水	事業特別	川会計	5,597万	
国民健康假			20億3,009万	円
老人保健	と 特別	会 計	16億89万	円
介護保険			8億9,467万	円
居宅介護支援			2,936万	円
船津公園墓地			1,038万	円
小立公園墓地			1,167万	円
勝山墓地事			261万	
富士河口湖町			2億6,195万	円
大石簡易水道			4,543万	
河口簡易水道			4,006万	円
足和田簡易水			7,232万	円
精進居村簡易才			658万	円
精進青木ヶ原簡			640万	
本栖簡易水道			524万	
富士ヶ嶺簡易フ			5,814万	
下水道事			14億7,706万	
精進特定環境保全公			5,602万	
本栖下水道			1,342万	
	<u> 特別</u>		5,967万	
合	=	<u> </u>	79億5,982万	円

町の予算は、こう使われます。

予算総額は

126億3,000万円

				会息	t a
議会•総務	福祉推進	健康増進	環境	農林	観光
S/W					
町議会議員選挙 242万円	ホームヘルパー 派遣事業	健康プラザ運営 管理	ごみ減量化推進事業リサ イクルフェアー開催費	まきば公園整備 事業	特産品開発事業 50万円
行政外部評価業 務委託	1,456万円	2,636万円 タラソセラピー	453万円	1,887万円	いやしの里創出 事業
300万円	重度心身障害者 医療費及び自立	施設建設事業	生ごみコンポスト容器及び生ごみ処	遊休農地対策事 業	3億2,700万円
ISO9001導入 委託料	支援医療費扶助 6,491万円	3,950万円 健康のまちづく	埋機購入補助 40万円	499万円 森林整備地域活	ハーブフェステ ィバル補助
300万円	知的及び身体障	り推進事業	花トピア推進事	動支援事業	800万円
富士山世界文化 遺産負担金	害者入所事業 1億1,160万円	258万円 老人保健推進事	業費 1,894万円	288万円 地産地消推進事	国際観光推進事 業
294万円 広報誌発行	寝たきり老人介 護報酬及び敬老	業 310万円	指定ごみ袋作成 費	業 100万円	2,435万円 野鳥の森管理運
1,054万円	祝金支給	乳幼児医療費事	1,100万円	有害鳥獣防護柵	営費
標準地時点修正 率調査委託	275万円 配食サービス事業	業 3,837万円	リサイクル・リ ユースセンター	設置 80万円	836万円 蝙蝠穴駐車場整
396万円 公債費	339万円	山梨赤十字病院	運営事業 2,972万円	地籍調査測量 147万円	備事業 3,685万円
公領貧 11億8,012万円	老人クラブ活動 及び運営補助	建設・長期療養型病床群病棟建	一般廃棄物収集	14771	道の駅増築等整
	550万円 ふれあい児童クラブ委託	設負担金 8,761万円	運搬処理委託 4,560万円		備事業 1,030万円
	1,278万円	予防接種事業 2,491万円	粗大廃棄物搬出 処理委託		いやしの里運営 事業
	ひとり親家庭医 療費扶助	住民検診事業	处理安託 2,971万円		4,952万円
	518万円 児童館運営費	5,890万円 結核予防事業	不燃処理施設等 補修工事		
	九里昂厘呂貝 1,050 万円	292万円	1,000万円		

○船津温泉休養施設条例

増進を図るために設置し 住民福祉の向上と健康

月三日。 午後九時。休館日は火曜開館時間は午前十時~ 日と十二月二十九日~一

及び七十五歳以上は無 小人百五十円(未就学児 利用料は大人三百円、

○河口湖ハー バル工房条

りの増進を図るため設置 供し生きがいや健康づく 児者に対し作業の場を提 高齢者や在宅心身障害

午後五時。 利用時間は午前九時~

の推進と町民文化の発 ○河口湖自然生活館条例 農作物の加工品の開発

的に設置した。展・地域産業の振興を目

午後五時。休館日は木曜開館時間は午前九時~ 日・休日の翌日及び十二 月二十九日~一月三日。

入館料は無料。

○大石紬伝統工芸館条例

午後五時。休館日は火曜 日・休日の翌日及び十二 紬工芸の振興と後継者の 育成を図るため設置した。 開館時間は午前九時~ 大石地区に伝承される

○河口湖ハーブ館条例 人館料は無料。 月二十九日~ 月三 日

文化の発展と地域産業の を積極的に推進し、町民 ハーブの特産品の開発

月二十九日~一月三日。 日・休日の翌日及び十二 午後五時。休館日は火曜 振興を目的に設置した。 人館料は無料。 開館時間は午前九時~

○精進活性化センター条

点とするため設置した。 るとともに情報発信の拠 して、農業の活性化を図 利用時間は午前九時~ 地域内外の交流を礎と

午後十時。使用料は研修 時~正午)。 室千六百八十円 (午前九



▲精進活性化センター

原樹海の観光、特に旅湖・富士ヶ嶺及び青木ヶ ○観光総合案内所条例 富士山 周辺・富士 兀

予約業務等を行い、もっ設の紹介、宣伝及び宿泊行・観光情報・観光諸施 した。 産業の振興を目的に設置 て観光産業の発展と地域

午後五時。休業日は十二 ○河口湖創造の森オート 月二十九日~一月三日。 利用時間は午前九時~

キャンプ場条例

キャンプサイト一区画五 振興を目的に設置した。 十一月三十日。使用料は 使用期間は四月一日~ 観光産業の発展と地域

○船津胎内フィー ンター条例 ールドセ

した。 文化の発展を目的に設置及びその活用を図り町民 自然と文化資源の保全

午後五時。休館日は月曜 日・休日の翌日及び十二 月二十九日~一月三日。 利用時間は午前九時~ 入館料は無料。

○河口湖美術館条例

文化の発展を目的に本館 識及び教養の向上と町民美術に関する町民の知 分館は木曜日。観覧料は、 と分館を設置した。 般三百円、中学・高校 休館日は本館は火曜日 (常設の展

町民等に公表することを 等を翌年の一月末日まで 研修及び勤務成績の評定 件、分限、懲戒、服務、 定めたもの。

○生涯学習館条例



▶生涯学習館

する事業を行う。 ○子ども未来創造館条例 成に関

支援に関する事業を行う。 る事業や子どもたちの創 館では、家庭教育に関す どもたちを育成していく 造性・体力向上・子育て ために設置した。子ども たくましく心豊かな子

○人事行政の運営等の状 況の公表に関する条例 ○国民保護対策及び緊急 対処事態対策本部条例 武力攻撃事態等に国民

務時間、その他の勤務条 職員の任用、給与、勤

提供と学習活動を総合的 を図ることを目的に設置 に支援し生涯学習の振興 町民の生涯学習の場の

織及び運営に関し必要な

を総合的に推進するため 住民の意見を求め、

協議会を設置し、その組

事項を定めるもの。

職員給与条例の改正

生涯 提 力攻撃災害等派遣手当が災害派遣手当の中に武 含まれた。

○介護保険条例の改正

れた。 ら介護保険料の階層が五平成十八年四月一日か 険料は次のように改正さ れ六十五歳以上の年間保 段階から六段階に改めら

第三段階 第八段階 第五段階 第一段階 第四段階 六万二千八百二十円 二万九百四十円 二万九百四十円 五万二壬三百五十円 三万千四百十円 四万千八百八十円

かれた。 ○乳幼児医療費助成・重 それぞれの入院時食事 成・ひとり親家庭医療 度心身障害者医療費助 費助成条例の改正

事に対応するもの。

○国民保護協議会条例

国民の保護のため広く

施策

対処事態本部を設置し有 民保護対策本部及び緊急 を保護するために町に国

予算特別委

議応答

沢 鶴 義 員 長 梶 原 美 義 副委員長

環境と景観に配慮し た積極型

次のとおりであります。 業の質疑応答については 何われる。 なお、 主な事 した本年度の予算編成と 光・環境・交流」に配慮

質問

防火水槽三基の設

いただきたい。

机・ロッカー等を考えて

しているホテル等にある

置は地区から申請があっ

たものか、計画的に行っ

般会計

ているのか。

5

K「教育・健康・

観

うな備品を購入するのか。

管理課長

一般的に営業

明を受け予算特別委員会 に付託された。 委員会は、三月十日か 平成十八年度当初予算 町長の施策方針の説

なっている。 で二十九・○%の増加と 百七十万円の増額、 と金額で二十八億三千五 歳入歳出百二十六億三千 算を慎重に審議を行った。 計及び三十四特別会計予 亘り平成十八年度一般会 ら十七日までの八日間に 万円で前年度と比較する 一般会計当初予算は 比率

型予算である。 規模を上回る積極的で大 はじめ県内の四市の予算 この予算は、 大月市を

る。

地方交付税十九億四千百 七億九千二百八十万円 (前年度比十二・八%増)、 主な歳入は、 町税三十

主な性質別歳出は、人件 五十万円(七十九・八% (五十六・二%増) である。 は三十二億三千五百万円 庫支出金十二億八千四百 万円(十七・三%増)、 町債(起債借入額) 玉

通建設事業費 増)となってい (七十五・一% 千七百二十万円 は、四十三億四 五・六%増) 普 十万円 (三十

千二百六十五万 創造館の備品一 及び子ども未来 主要な事業 生涯学習館 健康づくり

円 (三·二%増)、 費十八億三千六百四十万 (起債償還金) 十一億八千 公債費 万円、

が今年の最重点項目の

つとして取り組んでいる が主なものであり、町長 いやしの里創出事

▲こもも保育所

ぎました。

質問 るガリバー王国のどのよ 富士ヶ嶺地区にあ

いるが坪単価は。

事業千九百九十万円など 観保全費に花トピア推進 費三億三千五百万円、景 業・西湖地区サイン事業 に役立てるタラソセラピ 建設事業三千九百五十

> み立てる予定があるのか。 財政調整基金を積

> > 設置している。

または施策的な考え方で 管理課長 手薄なところ

質問

億円積み立てる 域振興基金を三 それに代わる地 積み立てる予定はないが 本年度については、

班がなくなって きたので業務を の目的が達成で 税務課へ引き継 収納対策 初期

いるが。

質問

予定です。

総務課長

▲上九一色コミュニティセンター

質問

上九一色出張所関係

上九一色コミュニ

ている。 九一色村時代の坪単価五 百円を採用したいと考え 上九一色出張所長 旧上

地方バス路線維持

生活路線のため継続して バス路線であり、 区を経由して身延までの 行きたい。 企画課長 費補助金の使途は。 精進・本栖地 地元の

スがあるか。 の人が入居しているケー 補助を出しているが一般 質問 大学生用の宿舎に

居していないと認識して 企画課長 一般の方は入

るか。 総合窓口課長 ものを配置する考えがあ 民が窓口に来られた時、 た時の手話等の対応は。 がある方が窓口に来られ でフロアマネジャー的な 庁舎内が分かりにくいの 旧上九一色村の住 聴覚に障害 窓口事務

応している今後検討した 会を開催し対応を図りた 曜日については夜間も対 福祉協議会と連携し講習 できる職員がいる。社会 は昼休みは二名体制で水 税務課に手話通訳が

てはゆとりをもった定員 における待機児童はいな 機児童数は何名いるのか。 設定を行っている。 い。こもも保育所につい 児童福祉係長 質問 保育所における待 国の基準

焼却場の建設負担金と維 持管理費については。 質問 富士吉田市のごみ



ては、 町長 円の十五年償還で、維持 百六十九億五千万 建設負担金につい

質問

合併した富士ヶ嶺

者と委託販売を検討しブ

肉牛についても生産

り、 社会システムに貢献した は有料化を検討して行き いての取り組みは。 質問 で割ったものである。 を使用していただき今後 環境課長 排出量の削減と循環 ごみの有料化につ 導入することによ 指定のごみ袋

環境課長 方法は。 質 問 の廃プラスチックの活用 ペットボトルなど 年間十五トン

Cが得られるので今後研 る。一キログラムの廃プ が排出され処理されてい 究して参りたい。 より石油燃料が約八百C ラスチックの有価処理に

質問 れるが年間の生産予定量 こしの食材になると思わ シラフジ茸は町お

を予定している。

▶牛が放牧されている様子

から二万本を予定してい 農林課長 年間一 万六千

ているが評判がよい。ま

が宿泊客に牛乳を提供し

河口湖の旅館組合

地区の農業振興について。 みたい。

の年間経費を構成市町村 管理費については、

全体

まきば公園建設を中 地区内に加工

では交流広場・排水施設 中山間地域総合整備事業 進めて行きたい。農業に った作物を検討したい ついては、 施設を設けブランド化を 心に考えている。乳牛に ついては、 今後当地にあ

酪農について 質問

状況は。 観光課長

質問 考えている。 市場となってく

ことが予想されるが、 カヌーなどを利用してい れに代わるローボート、 観光課長 ただき静穏を守りながら 響等はいかが たが観光への影 水上バイク乗り 人れが規制され 観光客が減る

ランド化の方向で取り組

を地元の方々と協議を進

観光課関係

四万八千人。平成十七年 十六万二千人となってい 今後は中国が将来の 国人の入り込み 平成十六年十

るので東京都ほ 教室的なものを ットに野外自然 旅行生をターゲ く。また、修学 今後検討して行 議会を設置し、 か三自治体で協 本栖湖が

水辺と親しめる観光振興 そ の年間予算は。 質問 討したい。

都市整備課関

質問 算計上を行っている。 用地取得ということで予 都市整備課長 天上 山公園の 今年 進捗

ては、 乱立している箇所につい する必要がある。 都市整備課長 内標識が少ないが対応は。 は標識が少ないので整備 から湖畔及び西湖地区に 集合化して行きた 観光客に対し、 河口湖駅 なお、 案

公園などを考えているが 方法は。 残ったところの土地活用 都市整備課長 小規模な

質問

道路の用地買収で

ケ嶺地区の住宅の使用料 れている町営住宅と富士 用地の規模を考慮して検 大嵐地区に建設さ

住宅六十六万円である。 都市整備課長 六百三十万円、 富士ヶ嶺 大嵐住宅



|サッカーを通して スポーツ振興を

組みは。

内容は。 小立小学校の改修

教育長 るために色々な授業を行 ない成果を挙げること。 豊かな心を育て

る学校もあ を入れてい 字などに力 あるいは漢 ては、太鼓 くりについ ある学校づ また、特色

▲改修が予定されている小立小学校 がら行うこ を生かしな 学校の特色 が地域及び り、各学校

色ある学校づくりの取り てる人づくり事業及び特 教室棟の三階部分と教室 の二階部分と外のトイレ 誇り豊かな心を育 管理特別 学校教育課長 青色パト 童の安全を守って行きた ロールカーを巡回して見 安全対策について ンティアの協力を得て児 守るほか、自治会のボラ の登下校の

の改修を行う。

学校教育課長

質問

児童

質問 国際交流事業の内

バーベキュー等を行い交 会を中心に芸能の発表や、 る。外国から来られる方 の交流を中心に考えてい している外国人と町民と 流を深めたい。 については、 生涯学習課長 国際交流協 町に在住

> を行う。 年度は、地下部分と一階 模改修の内容は。 の内装を中心として改修 生涯学習課長 平成十八

どものスポーツ振興が図 用していただき地域の子 していない、ヴァンフォ 質問 に河口湖サッカー場を利 レ甲府に夏季の期間中 専用の練習場を有

中央公民館の大規 生涯学習課長

町もヴァ

証を交付している。悪質

ヌー大会を計画している 質問

会は十大会を予定してい 進湖において開催する大 口大会、全国高等学校総 少年少女カヌー大会、ポ 生涯学習課長 会などを予定している。 合体育大会カヌー競技大 開催する大会は全国 本年度精

質問

介護保険料の滞納

特別会計

国民健康保険特別会

円である。 どのくらいあるのか。 付費分については十八万 は一億四百万円、 保険課長 質問 護給付費の実質滞納額は 医療給付費及び介 医療給付費分 介護給

▲整備されている河口湖サッカー場

保険課長

短期間の資格

質問

滞納者への対応は。

ので、今後前向きに検討 ている。招くことにより 子どもたちの刺激になる ンフォーレ甲府を支援し 精進湖においてカ いる。 高は。 質問 え予告通知書を発行して 万円である。 保険課長 な者に対しては差し押さ

財政調整基金の残

一億五千九百

介護保険特別会計関

とは。 質問 の状況は。 保険課長 十万円である。 地域包括支援事業 滞納額 三百四

果的な事業である。 善・口腔機能向上や閉じ 動器の機能向上、 健康プラザ等において運 保険課長 態の軽減と悪化防止に効 こもり予防など要介護状 高齢者に対し 栄養改



こが聞きたい



渡辺余绪治 議員

がスタートした。 後の課題と思われる。 行財政改革・合理化が今 政運営が望まれると共に 特色を生かした施策・行 にとって地域(地区)の 口二万五千五百六十五人 新たに富士河口湖町(人 て考えは。 た職員数の適正化につい 益々広域となった新町 三月一日の合併により 合併により増大し

わり、 二百四十三名(町民百七 九名・定年退職者二名で 九一色村より二十二名加 十二名・合併により旧上 町長 旧町が職員二百 人に一人)である。 それに早期退職者

運営を図っていきたい。 的には、二百二十~二百 導入も選択しながら将来 二十五名を目途に適正な 「指定管理者制度」の

> の高騰が懸念されている 為の施設」 が対策は の維持管理費

り」のためには次世代に 応募をいただいた。 れ、八十名・二十三名の トしていただく。それぞ けのためにもサポーター 等は、住民参加の意識づ 館・子ども未来創造館. 重要な事業の一つである。 町長 「住みたい町づく ズクラブに運営をサポー かりでなく、「生涯学習 指定管理者制度の導入ば つなげての行政の施設も

目途に給食センターのセ ンター化も意識していく。 また、平成二十一年を 「西湖いやしの里

ものである。平成十七年 域の活性化を目的とした 歴史・文化・自然を通じ 再生し、地域に根ざした 定され、今年夏十一棟で 七月に地域再生計画に認 た観光交流拠点として地 で消失した茅葺集落群を 昭和四十一年九月の災害 観光課長この事業は、 根場」の管理・運営は。

住民サービスの 基幹である。 「支える仕組みづくり」が これらの管理運営は、

併せて茅葺職人の育成も 図っていく。 管理システムを構築し、 積み立てて永続的な維持 また、入場料から基金を 立し運営していく予定。 主体とした運営組織を設 運営し、その後、



▶西湖いやしの里根場

(医療費抑制) 町民の健康で 取組み つくり への

健康増進課長 の取組みは。 町民の健康づくり 平成十七

> 南部では、 企画課長

診療所の閉鎖 旧上九一色村

に伴い四月より「福祉バ

期オープン予定。

くり審議委員会」 年七月に し取組んでいる。 「健康のまちづ を設置

当初二年間は町が直接 民間を の高い六地区をモデル地 蓉の湯の利用者は昨年に 健康づくり教室を実施し 区に指定し、「プラチナサ 比べ十%強増加している。 ている。健康プラザ・芙 ターでは毎週さまざまな 十八年度は、 高齢者体力づくりセン 高齢化率

室型のスポーツクラブと 足させたい。 ね平成十九年度中には発 して、関係者と協議を重 にもつながるスポーツ教 生涯学習課長 ツクラブの検討状況は。 総合型地域スポ 健康増進

連行の考えは。 総合的な町内巡回バスの 施設が開設予定であるが 未来創造館等さまざまな 質問 健康指導センタ ・生涯学習館・子ども

> ていく。 総合的な運行は、 動向を見たうえで検討し ス」が運行される。 一年間

ウォーキングの促進

健康增進課長 平成七年 マネントコース設置・マ プ作成について。 ウォーキングパ

と連携し見直す。 ルも意識した中で観光課 も変化し、 が設けられた。住宅環境 旧河口湖町に十七コース 防犯パトロー

開を図っていく。

催する。介護予防の実践 ポーター養成講座」を開

サポーターとして地区展

併せて実施したい。 ーを記入し、食の健康と ップに距離と消費カロリ 観光課長 しても期待している。 コースの設定を観光課と パーマネント 7

見問ウォーキングトレ 周計画は。 -ルの整備状況と河口湖

長浜~勝山が未整備であ 離・徒歩時間の案内看板 るが協議をしていく。 を設置する。 建設課長主要箇所に距 大石奥川~



恭

治

議 員

とする事である。

資料館について 町立歴史民俗

髙 山

る

としたら、 浅間神社までの予定であ 平成十九年度に得られ 町立歴史民俗資料館 浅川から河口

浅間神社の宝物や で発掘した柄鏡型 号線Ⅱ期バイパス いる。国道一三七 鎌倉街道歩道整備 交付金事業による 敷石住居跡等の埋 でが検討がされ 内の歴史的物品 !河口浅間神社ま 浅川間の旧 まちづくり その延長 河口

事業は、

が見られる町立歴史民俗 等を収集し、 資料館の建設を、 くり交付金事業に取りる 先人の足跡 まちづ

ちづくり交付金の認定が 金事業を行っている。ま 三ヶ所のまちづくり交付 建設計画等により、 合併後の町の 現行

社内へ歴史資料館を設置 審議会の復元案は四案あ れの事業課で検討しまち 生涯学習課長 町文化財 入れ申請していきたい。 位置づけていく。それぞ ンセンサス等を得ながら 等は地域の皆さんとのコ づくり交付金の中に取り 大方の意見は浅間神

> 設置当時は世に出したい 館設置後の、 する。地域住民の皆さん 町長 いわゆる歴史資料 か考慮いただきたい。 よい運営が出来るかどう 能性に疑問がある。効率 将来にわたっての持続可 過すると運営等について 気持があるが、長い間経 の熱意が一番大事である。 については大変な感じが が考えられる。 その運営等

▲河口浅間神社

区制について

蔵文化財や、

いては。 の自治会との連携、 害の予測を踏まえた中で、 地震や富士山噴火等の災 大石地区の区制導入につ の成果、 管理課長 問問 一年近く経過したが、そ 区制が導入されて また、区と従来 迫り来る東海 河口

関係河口の御師の資料等 展示する資料は古文書 柄鏡型住居跡を復 われた。 度当初の区長自治会長会 年で二年目を迎えた。年 相まって町民の健康づく の顔合わせ、 議では、区長、 の紆余曲折があったが本 された制度である。若干 性により、 りを推進するという必要 康指導センターの建設と 防犯体制の確立、 心なまちづくりのための 区長制度の必要性を再 昨年より施行 また健

他の住民サービスの提供 願いしていく事とした。 事案について、各区長さ 健康推進等のその都度の と言う意見もあった。し で行政運営を推進すべき 出ており、 も大事と言う意見も多数 高所より意見を述べてい 確認し、町に対して大所 は自治会長を通して行っ んの高所からの意見をお かし、当面は防災、 ただくが、 また区制だけ 旧自治会単位 防犯、

指定管理者制度の 導入につい

話し合が行 自治会長 の運営状況等の情報開 制度導入、 されるが、 例が地方自治法の一部改 定管理者制度により運営 施設のうち、 止により改正された。 町が管理運営する十一 町立施設の管理条 その応募資格、 指定後の施設 八施設が指

応募する資格はある。

ていく予定である。

により、 等細かな制度があるが、 な自治行政が出来ると言 者であれば、どなたでも 管理能力があり意欲的な 税金の滞納していない者 う目的で制度化が図られ 応募資格は町税等の 自治体はスリム

る。 を町に報告することとす の利用状況及び収支状況 業務に関し毎年その施設 指定された業者は、その 収支の向上を図るかが指 来の業務の他にいかなる 任意指定の可能性もある。 を展開し、 画の提出、 定の要件と考える。また、 レベルアップされた事業 事業計画書及び収支計 その施設の本 今まで以上の

泉内閣の構造改革路線の

企画課長 この制度は小 はどのようになされるか。

にできるものは民間にゆ

ノウハウを活用し、民間 環として、民間の持つ



やることにより行政組織

接行政が公共サービスを

が十分にあるとして、 共サービスを担える能力 けでもなく、民間にも公 やらなければならないわ 共サービスを行政が直接 下に推進されている。公 だねるという基本方針の

直

の肥大化を招くおそれも

民間への市場の開

低迷する経済

民

▶河口湖ミューズ館

間に経営をゆだねること に活力を与え、また、

性化の必要や、

安全で安

61

と協議の上図っていきた 区での区制の推進を地

自主防災組織の一層の活

これからは大石、

河口地

元



Z

長崎山さくら

町の活性化に寄与する一 事業化の見通しについて 待されているが、 大観光拠点となる事が期 公園について この事業は新たな 現状と

して平成十九年度に町づ 欠である。 後共地元のご協力が不可 業着手の予定である。今 くり交付金を申請する予 後予定される事業資金と 原基金が決定された。今 た、関係者のご協力で高 度は五百万円を計上、ま 業化が明確になり、本年 桜の会のご協力を得て事 然動物園協会、(財)日本の 本年度は全体の企画 来年度から事 昨年(社)富士自

浦 のメドがついた。 夫 議員

河口湖~精進湖線道 (北岸ビューライン) 道路整備について

ある、これら二ヶ所の道 災害時の緊急避難路とし 路整備については。 ても早期の整備が必要で が有る。今後予想される く大渋滞及び事故の発生 より大石に向う扇崎トン 差点が県道と鋭角に交差 ル附近の道路が極端に狭 ネルから、もみじトンネ している。また長浜方面 左折して西湖に入る交 国道一三九号線よ

中に完成できるよう、改 月一日に合併しさらに交 働きかけている。 御殿庭線は平成十九年度 ては最重要課題である。 ンネル周辺整備は本年三 良に向けて国土交通省に 点と扇崎周辺整備につい 二浦管理官 御殿庭交差 扇崎ト

り三千五百万円の補助金

て寄附をする高原財団よ 町長 緑化事業に特定

> 性化標識ガイドライの取り組みと観光活イ(日本風景街道) ついて。 ン策定の進捗状況に シーニックバイウェ

ら、 現在の単に機能的な道か 光活性化標識ガイドライ 月議会で説明があった観 ついて、また、昨年十二 り入れたこれからの道に を得て調べて見た結果、 ンの取り組みについて伺 ジ等からわずかな情報 より豊かな要素を取 国土省のホームペ

を大切にする考え方を元 則等に準じて街道の風景 企画課長 協議会を本年立ち上げの 称富嶽ぐるり街道風景 新しい観光地を目ざ モデルコースとして 屋外広告物規

> 行う。 治体NPOの協力を得て 山梨静岡両県と地元の自 予定である。 これは富士山を中心に

地区の拡幅街路事業が進

通量が多くなるため長浜

みしだい、平成二十年の

況について。 イドライン策定の進捗状 観光活性化標識ガ

県に強く働きかける。

早期整備事業として平成 若彦トンネル完成に向け、

十九年に事業着手すべく

情報システムを協議した。 しいシステムを構築する。 湖の四エリアをモデル地 案内標識の配置デザイン 整備検討協議会を設置し 区に設定し、 デル地区として昨年標識 都市整備課長

基づく地籍調査 事業について 国土調査法に

実施計画を作成する予定

長期的の地籍調査事業の

業を推進する事で、 本年三月一日の合併によ たのを機に、 の南側地区も同様である。 主の河川境界確定でトラ 十三年、 ていない。また、西湖畔 を推進してきたが昭和四 去において地籍調査事業 ルが発生し未だ解決し 新富士河口湖町となっ 旧足和田地区は過 県と長浜地区地 地籍調査事 さく

できると思うが。

から実施、 辰林課長

町にふさわ 当町はモ 河口湖町として新たに中 エリアを統合し、新富士 ないが、来年度より旧河 口湖旧足和田旧上九一色

町長 も再スタートしたので行 である。 政も一所懸命とり組む事

環境整備について 河口湖の

して、 町が取り組んでいる状況 用は重大な問題である 境・景観、 と今後の展開については。 問問 当町は観光立町と 特に河口湖の環 また、適正利

くが町民参加をより一層

岸整備等順次推進してい

お願いしたい。

キングトレイル及び 駐車場整備等も解決 ら公園事業、 ウォー

に着手する事はでき の富士ヶ嶺地区で実 施しているので直ち に、上九一色村南部 旧河口湖で平成九年 ける国土調査事業は、 当町にお またすで

をお約束する。 本年三月より当町

岸の整備④大池公園の護 ①長浜地域の長崎山さく を中心に河口湖環境整備 である。平成十五年に県 めには環境整備は不可欠 る魅力的発展していくた ③河口山の神川周辺の護 流水口のしゅんせつ方法 ら公園附近②大石奥川の 河口湖整備計画を作った。 ができ、ワーキンググル 成十六年環境推進委員会 して地元住民を中心に平 計画策定委員会が設置さ 光地として、 管理課長 ープが四つほど具体的な その中で実行部隊と 国内有数の また秩序あ 観



▲長崎山さくら公園



古 屋 哉 議 頁

今後も自然体で議員活動を行っていきたい。 う。自然体の重要性について深く考えさせられ、 も意識することなく自然体で滑れたことが結果 に結びついた」と、まさしくそのとおりだと思 獲得に勇気づけられた人も多いでしょう。 ちな トリノオリンピックでの荒川選手の金メダル そのひとりです。本人曰く、「何

上九一色村南部への 取り組みについて

あり、 るが、 地区とに分かれ、各地域 南部の活性化に向けた発 に導くよう、 富士ヶ嶺地区の地域間が かしながら、 課題も山積みである。 ている。合併特例債はあ 栖地区、 広大な土地を有し、 距離的に相当に離れ 教育、 湖を持つ精進、 厳しい財政状況で 高原の富士ヶ嶺 九一色村南部は 今合併を成功 精進、 福祉を含め、 上九 一色村 本栖、 その いて、 に取り組んでおり、

施策は。

断を受けている。マーケ 極めて有望であるとの診 については調査の結果 が詰めており、 ターを委譲の方向で担当 及ぶ青少年スポーツセン から十五ヘクタールにも け成果を期待している。 など静岡県中部に目を向 ットとしては、 いる。すでに温泉の湧出 かしていきたいと考えて 泉の立ち寄り施設を何と 合併特例債を見込み、温 町長 精進湖については、 本栖湖については、県 町では合併を契機 富士宮市 運用につ

> みつつある。 取り運用できるような方 ことが予測される。 法ついて観光課で取り組 ーツ施設と民宿が連携を スポーツ拠点になり得る スポ ▲ふじがね高原牛乳と富士山 補助は、 市をはじめ、 炭素排出削減へとつなが 得ると考える。 きな原因でもある二酸化 行政として、 有意義な補助になり



くの市町村が補助してい

県内でも多

富士吉田

本町において

り、 ンド、 めの交渉を進めている。 ヶ嶺牛として売り出すた 朝食に提供し、好評を得 河口湖温泉旅館組合では、 いる。すでに合併前から まきば公園計画を考えて ずもってまきば公園を作 酪農地域であるので、 展させ肉牛を、 ている。また牛乳から発 富士ヶ嶺産朝絞り牛乳を 富士ヶ嶺については ここを中心とした、 仮称であるが富士 地域ブラ ま ており、 である二酸化炭素の約九 は大きな社会問題となっ があるか。 るように、 環境課長 置補助制度の創設の考え も太陽光発電システム設

原因物質の一つ

地球温暖化は

設置補助について 太陽光発電

▲太陽光発電ソ

できるようなライフスタ

イルの方向を打ち出して

行きたい、

らしをし、

首都圏と往来

三日でも四日でも田舎暮

とも重要なことであり 国内外に発信していくこ の我が町であるからこそ 太陽光発電システム設置 そのひとつの手段として 積極的に取り組む姿勢を 富士山のお膝もと 地球温暖化の大 環境問題に ギーへの転換が求められ、 割は化石燃料の使用に伴 例等も参考にし、新エネ 自治体の役割も重要とな の観点からも、 って発生し、 して行きたい。 ルギー推進研究会で検討 っている。今後、

温暖化防止

新エネル

定年問題への団塊の世代の 取り組み

前後の第一次ベビ とは昭和二十四年 と言われている。 全国で七百万人弱 五十五歳から五十 まれた世代を言い ーブーム時代に生 七歳の就労人口は 団 1塊の世

からも注目されている さまざまな自治体や企業 時間がある消費者として 兆円とも言われ、 むかえます。大量の定年 定年後の技術、 による退職金総額は八十 は二〇〇七年にピークを 团 塊の世代の定年 能力、 、お金と 知

ーラ

ーパネル

団塊の世代のニーズに合 快く迎い入れるための め多方面での)や、 れる土壌作り(農業を含 新たに町民として迎いる 揮するための支援策や、 識を行政や町の企業で発 後の町の発展に欠かすこ わせた観光地づくりは今 の世代を観光客として、 と考えるが。 との出来ない課題である 団塊

先進事

住みやすい町であると大 り、 圏の方々が一週間のうち 考えている。 きくPRして行きたいと 等々でも富士河口湖町は、 センターに提示していき 一へ加盟を手続き中であ ながら、ホームページ の空き情報等を回帰支援 ふるさと回帰支援センタ 新宿に本部があるNPO あるかなと思っている。 可能性があるのは旧上九 色村の富士ヶ嶺地域で ドクタービレッジ等 特に用地等として また、首都

新町に期待する



精進副区長 渡 辺 芳 美

観光地となっているのが現状 の影もなく夏の一時季だけの れた精進湖ですが、 富士五湖の観光の祖と言わ 現在はそ 書が、 手にしていた一枚の印鑑証明

百三十年近く、

峠を越えて

地元で手にできる様に

るものと期待しているところ 観光業は大いなる発展を遂げ 合併した事によって、地域の 昨年一年間精進区長として 今年三月、 富士河口湖町と

のと強く感じております。 な観光地として再生できるも 士ヶ嶺の酪農を加えて、新た 本栖湖を中心とした観光に富 させて頂きましたが、 色村南部地域は、 私たちの住む地域はその大 九一色のまちづくりに参画 精進湖· 旧上九 聞いて、 重要です。 するかが

事実であります。 くり計画においては、 新生富士河口湖町のまちづ 旧上九 おり

乱開発から免れてきたことも

指定されており、

法によって

の推進を、

半が自然公園法の特別地域に

なった地域の活性化を望むもながら、住民と行政が一体と 保護を明確に色分けして、中で、有効な土地利用と自 力が大きく開花していくもの一色村南部地域の持つ潜在能 のであります。 るべき自然はきちんと保護し っては地域の特性を考慮した と考えられますが、 有効な土地利用と自然 開発に当 守

ます。 の利便性は大いに向上して なった事ひとつとっても住民 合併によってすべてが良く

いがために悪くなる事もあるなって良かった事、逆に大き たではなく、 でしょう。 なるとは思いません。大きく しかし、 合併してどうなっ 合併を期にどう



本栖区長 渡 邉



新町に期待する

求める観光開発に期待と夢を財の活用を計りつつ、時代の

活用を計りつつ、

時代

淳

う事です。 日々心穏やかな幸せを実感で 私が第一に望む事は区民が しなければならないか、とい きる地域にするために今何を この度の町村合併に当り、

出してしまっている現実を真 きる土壌を早急につくる事が 者が気軽に地域作りに参加で 剣に考え、ふる里を愛する若 未婚者が多く若者が他所に転 疎化の波が押し寄せています。 少子高齢化の進行と同時に過 な本栖湖の環境の保全と文化 何よりも大切だと思います。 富士河口湖町には自然豊か 他にたがわず、この地区 ŧ

です。 は本栖湖を利用する事が大切 す。 力を貸して頂きたいと思い し、道路沿いの美化や清掃に の健康と地域の文化を再認識 ド等の勉強に力を入れ、 発的な参加とネイチャーガイ 託します。また、 観光面での活性化のため 昔から当地はヒメマス 区民には自 自身

を使っての観光販売の可能性 釣りが有名ですが、ヒメマス も更に高めたいと思います。

ご協力の程お願い申 勉強しつつ、一生懸命頑張り 今後とも区民の方々と一緒に 本であると痛切に感じます。 も自ら行動を起こすことが基 期待しつつ、同時に区民自身 ない事が多々おこります。し時代転換の時には思いがけ たいと思いますのでよろしく かし未来を信じ新しい行政に 上げま L

精進湖でのポロ競技風景

都留市

忍野村

山中湖村

~旧上九一色村 南部より



簡易水道早期 富士ヶ嶺 買新を



富士ヶ嶺区長 伊 藤 正

合った方向へ整備され、発展し形態や地域産業が地区の実情にしました。当時では住民の生活 取り入れ、 て来ました。 七年より計画を開始、 年三月竣工し四十年間を経過年より計画を開始、昭和四十 富士ヶ嶺地区水道は昭和三十 様々な補助事業を 六〇〇hに及ぶ緑

> 地域です。 する、富士山を目前にする民有 位置し、晴れた日には北海道かなる海抜九五〇~一二五〇mに 首都圏から二時間足らずで到着 欧州の農村地帯を彷彿させる、 札幌市と同じような気象条件と 豊かな高原として、 晴れた日には北海道か 緯度では

和四十一年四月本栖湖からの揚庫負担に基づくものでした。昭 営農飲雑用水として農林省の国 され、 よぶ高低差があり、溶岩地帯と 地区内は広大で三○○mにお 水により給水開始を(年十七 地開発代行開墾建設事業による、 額七千三百八十七万六千円)農 から揚水工事費が決まり(予算 強酸性土で地下水は望めないと 昭和三十七年九月本栖湖

量七〇〇㎡)で、現在は三七〇m 〇人(週末利用者含)で、 \bigcirc 深井戸完成揚水開始(日量七〇 伴う組合水道組織で運営をしま を施行して村の水道施設とな 上九一色村富士ヶ嶺簡易水道給 五十九年上九一色村に編入し、 い現状です。現在の施設は昭和 対三の割合で家畜関係水量が多 畜約六○○○頭と人口約一○○ す。揚水量一○○○㎡/日を家 深井戸が完成揚水をしておりま した。その後地下水採取の技術 ·m) · 昭和五十九年六月二本 m^3 (昭和五十九年三月九日) 専用水道で個人負担の 昭和五十年三月には このような成 現在は三本の 約七

> 完成を切にお願い致します。 あり安心と安全のためにも早期 が村では実現しなかった事業でが、耐震性のある恒久的な設備 年度の予算で敷設替設計費が計 老朽化と給水能力不足や埋設施 大変に難しい設計にはなります 上されているとのことですので 過する、最短距離の管路三十二 Mで問題山積する施設です。 工位置が牧草地内や宅地内を通 立ちの基幹施設で最重要水道は 今

殊水道受水者も多く、 地域には専用水道や特 地域が秩

えることができまし この町に 私は、 無事成人式を迎 今年二十歳に 生まれて

の幸せを実感していま

然の中でのびのびと成

河口湖を望む美しい自

長することができ、そ

年間、霊峰富士を仰ぎ、

この町に生まれ二十

頃つくづくすばらし 今ではハーブフェス と思うようになり

みな口々に言います。に住んでいるね。」と 人に話すと、「いい所会の親戚や知り合いの す。この町のことを都 折々のながめを、この 前だと思っていた四季 子どもの頃は、あたり

きで、

今、

福祉の道を

お年寄りのことも大好

みると、「その頃より のことを父母に尋ねて わうこの 町の二十年前

の豊かな自然と温かい

富士河口湖町

域の人々に感謝

冬花火など一年を通じ ティバル、 て多くの観光客でにぎ もみじ祭り、

> 出ている。」 確実に発展し、

と教えて

活気が

この町に育ったことを

もらったこともあり、 祖父母にかわいがって が大好きです。私は、 れる大石の人々のこと つも私に声をかけてく 気持ちの人が多く、 くれました。 町民の方々も温かい

します。合併による特例債事業などに年度の一般会計歳入歳出予算をお届け

総額百二十六億三千万円の平成十八

より大型予算となりました。

大型予算と思われますので、

富士河口湖町にとって最初で最後の

健康科学大学が本町に

目指しています。幸い

そこに通っています。

設立され、

今、家から

富士河口湖町大石 堀内 友

いと考えています。 標とする仕事に就きた も頑張って勉強し、目誇りに思い、これから

1月~ 議員活動状況報告(振粹)

3月

8日 成人式

富士山の日総会 10日

23日 湖南中学校スクールバス運行式

文教社会常任委員会協議会 6日

10日 子ども議会開催

11日 上九一色村閉村式

16日 議会運営委員会 第1回臨時議会

22日 上九一色コミュニティセンター竣工式

1日 上九一色村と合併 議会運営委員会

3月定例会本会議(条例・補正予算) 8日

9日 議会運営委員会 本会議 (一般質問) 全員協議会

10日~17日 予算特別委員会

17日 予算特別委員会報告 議会運営委員会 3月定例本会議閉会

24日 議会運営委員会 第2回臨時議会

議会を傍聴しましょう!! 次の定例会は6月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ 傍聴してください。入口には、注意事項が掲示され ています。

生活が営まれることをお祈りいたしま 保育所への入所、小中学校、 四月は新たなる出発の季節。 新社会人の門出など平和な社会

終戦間もなく 入植が始まった 富士ヶ嶺地区。 400世帯あった 入植者のうち苦 難を乗り越えた 約150戸の方々 が建立した「開 拓30周年の記念 碑」。

開拓の碑

神社などに代

わる開拓者の心の拠り所として大切にされ、毎年8月の開拓祭では神事 が執り行われる。

ぜひ、